

2024年度「東邦音楽大学・東邦音楽短期大学・東邦音楽大学大学院卒業生アンケート」集計報告

1. 実施概要

実施日：令和7（2025）年3月18日（土）
対象：卒業生・修了生（大学・短大・大学院生当日出席者）
手法：卒業式事前控室にて全員に配布、記入後回収。

2025年5月吉日
キャリア支援センター

2. 回収状況(Q1～Q3)

【回収率】

学校種	卒業生数	回収数	回収率
大学	74	69	93%
短大	12	11	92%
大学院	22	18	82%
合計	108	98	91%

【参考：昨年(2023年度)回収率】

学校種	卒業生数	回収数	回収率
大学	56	55	98%
短大	11	10	91%
大学院	12	11	92%
合計	79	76	96%

※当日の出席者からは100%回収であり、大学・短大で回収率が9割を超える結果となっている。

【専攻別内訳】

大学		短大		大学院	
ピアノ	18	ピアノ	1	ピアノ	4
声楽	7	ピアノ指導	2	声楽	7
管弦打	23	声楽	3	管弦打	6
音楽創造	3	管弦打	2	作曲	1
音楽療法	5	電子打	0		
教職実践	5	SSWA	1		
Konzertfach	2	音楽教養	2		
PACS	6	未記入	0		
未記入	0				
合計	69		11		18

3. 調査結果と考察

Q4、在学中に重点をおいた取組み(複数回答)

- 1、専攻実技の向上
- 2、演奏活動（創作活動、実習等含む）
- 3、就職活動を含む卒業後の準備
- 4、ボランティア活動
- 5、教職員との交流
- 6、友人との交流
- 7、人脈をつくる
- 8、アルバイト
- 9、特に重点を置かずにバランス良く
- 10、特になし
- 11、その他

項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
大学	46	33	14	3	9	21	13	20	5	2	0	166
短大	10	2	1	1	3	6	2	1	1	0	0	27
大学院	18	5	3	2	3	3	1	1	0	0	0	36
計	74	40	18	6	15	30	16	22	6	2	0	229
順位	1	2	5	8	7	3	6	4	8	10	11	

順位	昨年比	点数	項目	昨年点数	昨年順位
1位	=	74	1 専攻実技の向上	56	1位
2位	=	40	2 演奏活動（創作活動、実習等含む）	28	2位
3位	=	30	6 友人との交流	21	3位
4位	↑1	22	8 アルバイト	14	5位
5位	↑1	18	3 就職活動を含む卒業後の準備	12	6位
6位	↓2	16	7 人脈をつくる	15	4位
7位	=	15	5 教職員との交流	11	7位
8位	↑1	6	4 ボランティア活動	2	9位
9位	↑1	6	9 特に重点を置かずにバランス良く	2	10位
10位	↑1	2	10 特になし	0	11位
11位	↓3	0	11 その他	3	8位

【その他、自由記入】

- ・音楽に関する知識を広げる、深める
- ・忍耐力

上位3項目（「専攻実技の向上」「演奏活動」「友人との交流」）は、2021・2022・2023年度と同様であった。☒
「専攻実技の向上」「演奏活動」については、特に音楽大学生としての特性があらわれた結果といえる。

【参考】前年度(2023)年度の順位

順位	昨年比	点数	項目	昨年点数	昨年順位
1位	=	56	1 選考実技の向上	53	1位
2位	=	28	2 演奏活動（創作活動、実習等含む）	26	2位
3位	=	21	6 友人との交流	25	3位
4位	↑3	15	7 人脈をつくる	9	7位
5位	=	14	8 アルバイト	15	5位
6位	↓2	12	3 就職活動を含む卒業後の準備	23	4位
7位	↓1	11	5 教職員との交流	13	6位
8位	↑2	3	11 その他	4	10位
9位	↓1	2	4 ボランティア活動	7	8位
10位	↓1	2	9 特に重点を置かずにバランス良く	5	9位
11位	=	0	10 特になし	2	11位

Q5. 学生生活を通じての人間形成に、どの分野の教育・支援の充実が望ましいか(複数回答)

- | | | | |
|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 1 演奏活動 | 2 音楽実技 | 3 音楽的知識 | 4 教職系学力 |
| 5 一般教養 | 6 語学 | 7 健康・体育 | 8 クラス担任制度 |
| 9 履修相談 | 10 キャリア支援 | 11 ボランティア活動 | 12 地域貢献 |
| 13 施設、設備、備品 | 14 その他 | | |

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
大学	38	39	32	14	30	15	4	3	6	10	0	5	13	2	211

短大	6	5	7	1	5	2	0	1	1	1	1	2	0	0	32
大学院	15	11	9	2	5	1	1	0	1	4	2	1	0	0	52
計	59	55	48	17	40	18	5	4	8	15	3	8	13	2	295
順位	1	2	3	6	4	5	11	12	9	7	13	9	8	14	

順位	昨年比	点数	項目	昨年順位	順位	昨年比	点数	項目	昨年順位
1位	=	59	1 演奏活動	1位	8位	↓1	13	13 施設、設備、備品	7位
2位	=	55	2 音楽実技	2位	9位	↑3	8	9 履修相談	12位
3位	=	48	3 音楽的知識	3位	10位	↑3	8	12 地域貢献	13位
4位	=	40	5 一般教養	4位	11位	↓2	5	7 健康・体育	9位
5位	=	18	6 語学	5位	12位	↓1	4	8 クラス担任制度	11位
6位	↑2	17	4 教職系学力	8位	13位	↓3	3	11 ボランティア活動	10位
7位	↓1	15	10 キャリア支援	6位	14位	=	2	14 その他	14位

【その他、自由記入】
・専門分野の知識
・税金のおはなし
・著作権、メディアリテラシーに関する知識

「音楽実技」「演奏活動」は、過去6年においても1位または2位となっており、音楽大学という本学の特色が反映された結果といえる。1位～5位は、昨年（2023）同様であった。2022、2023で12位だった「履修相談」は、本年は3ランクアップの10位となっているが、今後の推移を注視したい。一方、10位の「地域貢献」は昨年比では3ランクアップとなっているが、昨年（2023）において、一昨年比で5ランクダウンとなっていたため、例年並みの結果であるといえる。

【参考】前年度(2023)年度の順位									
順位	昨年比	点数	項目	昨年順位	順位	昨年比	点数	項目	昨年順位
1位	↑1	41	1 演奏活動	2位	8位	↓1	6	4 教職系学力	7位
2位	↓1	39	2 音楽実技	1位	9位	↑2	4	7 健康・体育	11位
3位	↑1	37	3 音楽的知識	4位	10位	↓1	3	11 ボランティア活動	9位
4位	↓1	28	5 一般教養	3位	11位	↑2	2	8 クラス担任制度	13位
5位	=	22	6 語学	5位	12位	=	2	9 履修相談	12位
6位	=	16	10 キャリア支援	6位	13位	↓5	1	12 地域貢献	13位
7位	↑3	7	13 施設、設備、備品	10位	14位	=	1	14 その他	14位

Q6. 本学で身につけることができた力

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1、身についた | 2、どちらかといえば身についた |
| 3、どちらかといえば身につかなかった | 4、身につかなかった |

項目
大学・院

- (1) 専攻分野を中心とした知識と技能□
- (2) 国際的な視野に立った広範な文化の理解□
- (3) 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
- (4) 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力□
- (5) 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
- (6) 自己発信のプレゼンテーション能力□

- (7) 専門分野を超えて問題を探求する姿勢□
- (8) 国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲
- (9) 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）
- (10) 生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）□
- (11) 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲
（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）

項目	大学				大学院			
	1	2	3	4	1	2	3	4
(1) 専攻分野を中心とした知識と技能□	52	16	1	0	12	3	3	0
(2) 国際的な視野に立った広範な文化の理解（大学・院のみ）□	25	33	8	3	7	5	5	1
(3) 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力	31	29	8	1	4	10	4	0
(4) 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力□	36	25	7	1	8	7	3	0
(5) 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力□	32	28	9	0	8	7	3	0
(6) 自己発信のプレゼンテーション能力□	33	26	8	1	7	8	3	0
(7) 専門分野を超えて問題を探求する姿勢□	37	25	7	0	9	5	4	0
(8) 国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲	25	25	16	3	7	4	5	2
(9) 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）	43	20	6	0	8	6	4	0
(10) 生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）□	47	15	6	1	10	5	3	0
(11) 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）	35	25	7	2	9	6	3	0

※「未回答」を除いた有効回答

項目
短大

- (1) 専攻分野を中心とした知識と技能□
- (2) 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力広範な文化の理解
- (3) 系統的な知識とそれを実現に適用する技能
- (4) 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力□
- (5) 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、
解決をする能力

- (6) 自己発信のプレゼンテーション能力□
- (7) 専門分野を超えて問題を探求する姿勢□
- (8) 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）
- (9) 生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）
- (10) 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲
（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）□

項目	短大			
	1	2	3	4
(1) 専攻分野を中心とした知識と技能□	6	5	0	0
(2) 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力広範な文化の理解	5	5	0	1
(3) 系統的な知識とそれを実現に適用する技能□	6	3	2	0
(4) 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力□	6	3	2	0
(5) 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力□	3	5	2	1
(6) 自己発信のプレゼンテーション能力□	3	6	2	0
(7) 専門分野を超えて問題を探求する姿勢□	6	5	0	0
(8) 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）	6	3	2	0
(9) 生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）	8	3	0	0
(10) 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）□	4	4	3	0

※「未回答」を除いた有効回答

すべての項目において、大学、短大、大学院ともに、「身についた」、「どちらかといえば身についた」が高い割合を占める結果であった。大学では、11項目中9項目で「身についた」の割合が最も高かった。また、「(1) 専攻分野を中心とした知識と技能」「(10) 生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）」「(9) 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）」において、「身についた」の割合が特に高い結果となった。また、「(8) 国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲」においては、「身についた」と「どちらかといえば身についた」が同数となっている。併せて、「(2) 国際的な視野に立った広範な文化の理解（大学・院のみ）」では、「どちらかといえば身についた」が「身についた」を上回る結果であった。

短大では、10項目中8項目で「身についた」の割合が最も高かった。「(5) 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力」と「(6) 自己発信のプレゼンテーション能力」では、「どちらかといえば身についた」が「身についた」を上回る結果であった。「身についた」の割合が最も高かったのは「(9) 生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）」であった。

【昨年度（2023）回答】

項目	大学				短大				大学院			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
(1) 専攻分野中心の知識と技能	31	8	2	1	9	1	0	0	10	1	0	0
(2) 広範な文化の理解	18	19	4	0	5	4	1	0	6	5	0	0
(3) 音楽芸術のみに偏らない汎用的な能力	22	13	5	1	4	6	0	0	10	1	0	0
(4) コミュニケーション能力	25	12	3	2	7	3	0	0	6	5	0	0
(5) 課題の発見、分析、解決力	28	10	4	0	6	4	0	0	5	6	0	0
(6) プレゼンテーション能力	21	15	4	2	2	7	1	0	8	3	0	0
(7) 問題を探求する姿勢	24	14	2	2	2	6	0	0	10	1	0	0
(8) 広い視野をもつ国際感覚（※大学・院のみ）	23	7	9	2					10	1	0	0
(9) 自己管理能力	24	11	3	4	8	2	0	0	10	0	1	0
(10) 多様な人々と協力して行動するチームワーク	24	13	3	2	8	2	0	0	8	3	0	0
(11) 自ら学習を続ける生涯学習力	28	9	3	2	4	6	0	0	11	0	0	0
(12) 社会に貢献できる社会的責任	21	15	4	2	4	4	2	0	5	6	0	0
(13) リーダーシップ	18	15	6	3	3	5	2	0	5	4	2	0

Q7、本学での学生生活に対する満足度

1、満足している

2、どちらかといえば満足している

3、どちらかといえば満足していない

4、満足していない

5、参加・履修していない

※(6)～(9)について、参加または履修していない方は、【参加・履修していない5】を選択。

(1) 教育内容全体

(2) 学修に関わる施設、設備、備品

(3) 卒業後の進路におけるキャリア支援体制

(4) 教職員のサポート体制

(5) 人間関係、環境を含む学生生活全般について

(6) ウィーンアカデミー研修

(7) 【演奏演習】について授業全体（特別練習合宿、役割分担、演奏会など）（大学）

- (7) 【演奏演習】(短大)
 (8) PACS 履修科目【THE 業界人】
 (9) PACS 履修科目【卒業研究発表】

項目	大学				短大				大学院			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
(1) 教育内容全体	37	26	3	1	6	4	0	0	12	6	0	0
(2) 学修に関わる施設、設備、備品	24	23	15	1	4	5	1	0	13	5	0	0
(3) 卒業後の進路におけるキャリア支援体制	28	24	12	2	2	4	3	1	6	5	7	0
(4) 教職員のサポート体制	39	25	3	1	6	4	0	0	11	7	0	0
(5) 人間関係、環境を含む学生生活全般について	35	22	5	2	6	4	0	0	13	4	1	0
(6) ウィーンアカデミー研修	42	15	3	0					14	2	0	0
(7) 【演奏演習】(大学、短大)	36	16	7	2	2	4	0	0	0	0	0	0
(8) PACS 履修科目【THE 業界人】	6	2	1	0					0	0	0	0
(9) PACS 履修科目【卒業研究発表】	5	3	1	0					0	0	0	0

※「5参加・履修していない」を選択及び「未回答」を除いた有効回答

大学においては、PACS含め「満足している」の割合が最も高い結果であり、昨年（2023）と同様であった。併せて「ウィーンアカデミー研修」の満足度が最も高く、次いで「教職員のサポート体制」であったことも昨年（2023）と同様であり、本学の教職員のサポートが学生生活の満足度に一定程度寄与していることが伺える。短大においては、6項目中3項目で「満足している」の割合が高かったが、昨年（2023）比では、やや満足度が減少傾向している様子が伺えるが、経年推移を注視したい。大学院では、昨年（2023）同様にすべての項目で「満足している」の割合が最も高い結果であった。

【参考：昨年（2023年度）回答集計】 区

項目	大学				短大				大学院			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
(1) 教育内容全体	18	17	5	2	7	3	0	0	8	2	1	0
(2) 学修に関わる施設、設備、備品	16	10	13	2	5	4	1	0	10	1	0	0
(3) 卒業後の進路におけるキャリア支援体制	18	15	6	2	5	5	0	0	6	5	0	0
(4) 教職員のサポート体制	23	14	2	1	8	2	0	0	8	2	1	0
(5) 人間関係、環境を含む学生生活全般について	19	12	6	4	10	0	0	0	7	2	2	0
(6) ウィーンアカデミー研修	24	5	2	3					10	0	0	0
(7) 【演奏演習】(大学、短大)	20	5	4	4	7	0	0	0	0	0	0	0
(8) PACS 履修科目【THE 業界人】	4	3	0	0					0	0	0	0
(9) PACS 履修科目【卒業研究発表】	7	0	0	0					0	0	0	0

Q8. 卒業後の就業予定(複数回答者)

クロス集計用の設問のため、省略（卒業後の状況については、別紙アンケート実施）

Q9. 印象に残っている科目や活動(自由記述、全掲載)

大学

1 ウィーン研修(ほかの学生と深い思い出があった。そこで新しい体験があった。他国の文化、音楽と飲食を体験した)

2 ウィーン研修

3 ウィーン研修

4 ウィーン研修

5 ウィーン研修

6 ウィーン研修

7 ウィーン研修

8 ウィーン研修

9 ウィーン研修

10 ウィーン研修(文化を学べたこと)

11 ウィーン研修(貴重な体験でした)

12 ウィーン研修

13 ウィーン研修

14 ウィーン研修、演奏演習、伴奏法、

15 ウィーン研修、演奏演習

16 ウィーン研修、教職特講、室内楽

17 ウィーン研修、実習(音楽療法)

18 ウィーン研修、イタリア語、

19 ウィーン研修、東邦ミュージックフェスティバル、演奏会

20 東邦ミュージックフェスティバル、卒業制作

21 東邦ミュージックフェスティバル

22 東邦ミュージックフェスティバル、自主公演、

23 演奏演習

24 演奏演習(すべてのリハーサル、合宿、最後の小学生への公演に深い印象をもっている)

25 演奏演習

26 演奏演習

27 演奏演習、コンサート、発表会

28 演奏演習

29 演奏演習、和声楽

30 演奏演習

31 演奏演習

32 ソルフエージュの授業がむずかしかったが、勉強になりました。

33 ソルフエージュ(初見力がとても身についた)

34 ソルフエージュ

35 ソルフエージュ、イタリア語

36 イタリア語(ミケーレ)、ソルフエージュ

37 イタリア語

38 実習(音楽療法)

39 実習(音楽療法)

40 音楽療法Ⅰ～Ⅷまでの科目、実習(音楽療法)(基礎から応用までひとりひとりにあったペースト方法でわかりやすく指導してくださり今後も勉学に励みたいと思える授業でした。また、どのように研究を進め、発表すると良いのか、非常に学びになりました)

41 教職特講、木管室内楽(松岡クラス)

42 教職特講、教職実践専攻だけの授業すべて

43 教職実践専攻だけの授業

44 ライブ実習、卒業制作(プロの方々とステージをつくることができたことが一番印象に残っています)

45 THE業界人(PACSならではの授業でした)、語学

46 THE業界人

47 ライブハウスでのギターのライブ、レストランでの演奏会

48 定期演奏会

49 定期演奏会、室内楽発表会

50 ホルン定期演奏会

51 チェンバロ研究、室内楽

52 試験

53 レッスン(学んだことが多く成長できた)

54 オーケストラ

55 ウィンドオケ

短大

1 演奏演習

2 演奏演習

3 演奏演習。みんなで協力して、ひとつのものをつくりあげた経験が今後の糧になりました。

4 演奏演習、ピアノアンサンブル

5 ピアノアンサンブルⅡ

6 ピアノアンサンブル

7 音楽教養科生のための楽典、ソルフェージュ。作曲家の人生と作品、楽曲の楽しみかた、音楽史。

8 実技指導の先生に、感謝しかありません。とても丁寧に教えてくださいました。各科目の先生方も、質問に丁寧に答えてくださり嬉しかったです。

9 ウィーン研修。共同生活の体験は参考になります。

10 すべてのレッスン、ピアノ指導法、

大学院

1 ウィーン研修

2 ウィーン研修

ウィーン研修(多くの声楽のテクニックを学び音楽の雰囲気を感じました。これは私の音楽学習の道のりのなかで決して忘れることのない経験となりました)

4 ウィーン研修

5 ウィーン研修、ミュージックフェスティバル

6 ウィーン研修、レッスン、論文、スイス・フランス留学、リサイタル

7 ピアノ専攻のレッスン、フランス音楽コンクール

8 レッスン

9 オーケストラフェスティバル

10 オーケストラフェスティバル

11 卒業代表演奏会、歌曲(作品研究)発表会、オペラ、日本歌曲、オペラ研究発表会

12 日本歌曲、アンサンブル表現研究

13 コンサートが多くて、良い鍛錬を受けた。

Q10、本学へのご意見・ご要望など。(自由記述、全掲載)

大学

- 1 大変有意義に楽しく過ごせました
- 2 ありがとうございました。
- 3 達成感
- 4 文京キャンパスは閉ざされてしまいますががんばってください
- 5 著作権や演奏会をつくる過程など音楽活動におけるスキルを学べる場をもっと設けてほしい
- 6 実技試験をグランツザールにしてほしい
- 7 PACSも同じ大学なのでもう少し平等にあつかっていただきたいです。
- 8 PACSはもう少し良いステージに立てたらよいなと思いました。ステージづくりを学んでからあるいはプロの方が立ち会ったうえでやるともう少し勉強になるしスムーズかと思います。
- 9 ピアノの練習室を増やす
- 10 学生と大学間の連絡・連携手段の充実

短大

- 1 先生と学生との距離が短いことが、東邦の魅力だと思います。文京キャンパスがなくなってしまうのがさびしいです。引き続き文京区内でなにか(音楽学校や講座)をやっていただけると嬉しいです。ありがとうございました。
- 2 とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

大学院

- 1 自分に合ったあたたかいご指導をいただきました。深い学びの姿勢が身についたと思います。

以上